

2024年度選抜

試験区分	一般選抜（後期日程）
学部学科	看護学部 看護学科
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>看護学部は、募集要項等に公表している「看護学部アドミッションポリシー」への受験生の適合性を把握することを目的に、入試科目に小論文を設定している。</p> <p>本年度、一般選抜（後期日程）の小論文では、「看護学部アドミッションポリシー」の中でも特に、「人間や社会に強い関心がある人」「客観的・論理的思考ができ、自分の考えや感じたことがわかりやすく表現できる人」「人を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする人」の3点に関連した志願者の能力の高さを見極めることを目指し、問題を設計した。</p> <p>また、高校までに学修している「学力の3要素」との対応関係では、主に「思考力、判断力、表現力」の要素に着眼し、併せて「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の要素も総合的に加味した上で、志願者がこれまでに主体的に対話的な深い学びを結実してきたかについて、アドミッションポリシーに則した観点から評価することを目指した。</p> <p>出題では、架空の場面設定として、親友から「インターネットに誰でも簡単に記憶力が7倍にアップするドリンクが開発された。」と情報を提示され、更に「テストで高得点がとれるように、一緒にこのドリンクを買って飲もうと誘われた。」状況があったとしたら、その誘いにまつわる情報をどのように分析し親友へどのように対応するか、設問した。</p> <p>採点・評価では、「親友」という最も信頼をよせてもおかしくない相手の言動に対する情報の真偽を確かめる科学的態度がどのくらい備わっているか、対人関係調整行動への思慮と想像の豊かさがどのくらい獲得されているかを確認した。論述では特に、情報の信憑性を見極めに慎重になりつつも親友の意図や想いをどのように推察し、同時に自己の希望の誠実な表明のためにどのように行動しようと考えているのかを確かめた。</p> <p>なお、解答時間は60分、論述文字数は800字以内とした。</p>